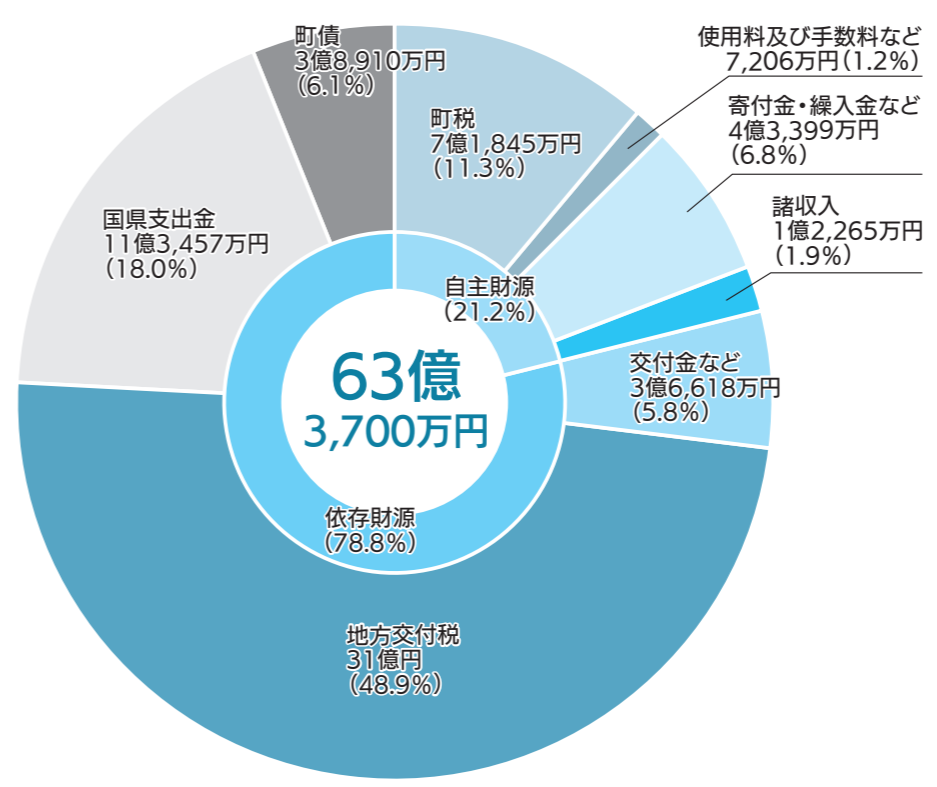
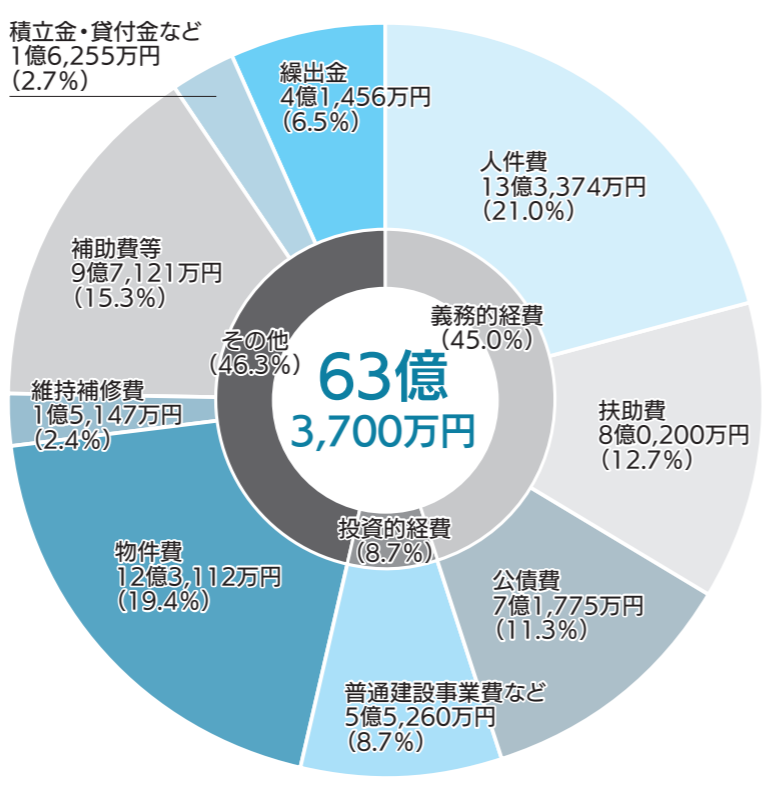


こども家庭センター設置、  
各種証明書コンビニ交付導入などに  
63億3,700万円

一般会計の歳入



一般会計の歳出 (性質別)



広域五城目体育館のバスケットゴールを更新します。



温水プールのプール槽改修工事を実施します。

▶ 会計別予算

会計名	8年度当初予算	7年度当初予算	
一般会計	63億3,700万円	59億6,100万円	
特別会計	国民健康保険 <small>自営業の方や退職された方などの医療費を給付するために使います。</small>	10億6,689万円	11億7,400万円
	後期高齢者医療 <small>75歳以上の方の医療費を給付するために使います。</small>	2億0,508万円	1億6,037万円
	介護保険 <small>介護が必要な方を支えるために、介護サービス費の給付に使います。</small>	18億8,450万円	19億6,818万円
	保険事業勘定	18億7,938万円	19億6,291万円
	介護サービス事業勘定	512万円	527万円
	障害認定事業 <small>障害の程度を審査し、認定するために使います。</small>	421万円	414万円
	合計	31億6,068万円	33億0,669万円
水道事業会計 <small>安心して使える水を供給するために使います。</small>	収益的支出	2億7,973万円	2億5,808万円
	資本的支出	1億6,138万円	1億9,586万円
下水道事業会計 <small>公共下水道の整備や汚水処理のために使います。</small>	収益的支出	2億7,261万円	2億7,553万円
	資本的支出	2億2,106万円	2億6,537万円

▶ 予算の主な使いみち

- ① コンビニ交付サービス導入事業 2,317万円  
戸籍や住民票、印鑑証明書、納税証明書などのコンビニ交付サービスを導入します。
- ② 住民向け一斉情報配信サービス構築業務 92万円  
LINEに加え、facebook、X、ホームページへの一斉情報配信サービスを構築します。
- ③ こども家庭センター事業 995万円  
新設の子育て支援課内に「こども家庭センター」を設置し、誕生日祝い品事業など更なる支援事業を実施します。
- ④ 病児保育事業 (体調不良時対応型) 455万円  
もりやまこども園で実施する病児保育事業を支援します。
- ⑤ 農地耕作条件改善事業 (災害残土置場畑地化) 1億2,093万円  
災害復旧事業の残土置場として利用した農地を再整備します。
- ⑥ 道路整備事業 2億4,350万円  
町道や側溝の改修工事、橋の補強工事を実施します。
- ⑦ バスケットゴール更新事業 3,278万円  
広域五城目体育館の移動式バスケットゴールを更新します。
- ⑧ 温水プールプール槽塗装改修事業 1,632万円  
老朽化している温水プールのプール槽などの改修工事を実施します。

前年度当初予算に比べ3億7,600万円の増  
令和8年度の一般会計当初予算は、歳入歳出の総額が63億3,700万円で、前年度に比べ3億7,600万円で、前年度に比べ3%の増額となりました。社会的な物価高騰、人件費の値上がりの影響を受けるとともに、長年実施してきた事業の刷新と新規事業の両立を図りました。

歳入では、町税が前年比1,634万円増額の7億1,845万円を、地方交付税では、前年比2億円増の31億円を、県支出金では、農地耕作条件改善事業 (災害残土置場畑地化) 費の増額などにより、前年比8,027万円増額の5億6,090万円を、また、歳出に対して不足する分は財政調整基金などを含み繰入金、3億7,399万円を計上しています。

導入事業2,317万円②住民向け一斉情報配信サービス構築業務 (facebook、X、ホームページ) 92万円③こども家庭センター事業995万円④病児保育事業 (体調不良時対応型) 455万円⑤農地耕作条件改善事業 (災害残土置場畑地化) 1億2,093万円⑥道路整備事業2億4,350万円⑦バスケットゴール更新事業3,278万円⑧温水プールプール槽塗装改修事業1,632万円を計上しています。

特別会計予算は、不要不急の事務費などを見直し、経常的経費の削減に努めた予算編成としました。なお、水道事業会計・下水道事業会計では、令和8年度からの料金改定に合わせた収入を計上しています。